

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2291 号

Emergency code to prevent unexpected cardiac arrests: single center retrospective study

院内心停止の分析および予後予測因子の検討

伊藤 櫻子 (いとう さくらこ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、院内における心停止の生存退院率が低い状況を踏まえ、心停止を未然に防ぐ取り組みについて着目し、院内心停止の予兆や予後予測因子を検討した論文である。重症化する前に速やかにかつ適切に対応することが患者の予後の改善に繋がり、増大が社会問題となっている医療費の削減にも寄与すると考えられる。院内心停止の状況を分析し、予後を予測する因子を拾い上げることは価値がある。

先行研究でもバイタルサインの異常は院内急変に先んじて起こるとされ、特に呼吸数の上昇は心停止の予兆として重要な意味を持つとされる。呼吸数の測定は臨床の現場で省略されることが往々にしてあり、課題として指摘されているが、本論文で示した如く Rapid Response System を整備してきたにもかかわらず、半数近くの症例で測定されていなかった。院内での予期せぬ急変は、既に重症として認識されている患者ではなく、想定外の患者に起こるものである。それらの患者ではモニタリングがされていないことや、バイタルサインの測定が適切に行われておらず、評価が十分にされていなかった結果と言えよう。

本論文は日本における院内心停止症例について分析した数少ない貴重なものであり、心停止症例において、観察が十分になされていない現状に警鐘を鳴らすものである。効果的な観察方法の教育と、院内急変を防ぐ為の取り組みの必要性について、根拠を示して明らかにした意義ある研究である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。